

●アメリカ・ポートランド市への出張について

姉妹都市であるアメリカのポートランド市を秋元市長が訪問します。

秋元市長のポートランド市訪問は、市長就任後としては初めてで、平成元年7月の姉妹都市提携30周年の際に訪問団の一員として参加して以来27年ぶりとなります。

近年、ポートランド市は持続可能なまちづくりを進める都市として世界的にも高い評価を受けているほか、「全米で最も住んでみたい都市」に選ばれるなど、全米の若者を引き付けて経済成長を続けています。

今回、都市計画部門を中心とした視察団が訪問することで、ポートランド市の先進的なまちづくりを本市のまちづくりに生かすとともに、本市の最初の姉妹都市であるポートランド市との長きにわたる交流の象徴でもある日本庭園の視察をはじめとした交流事業への参加を通して、ポートランド市との連携関係をより深めます。

1 訪問先

アメリカ・ポートランド市

2 訪問日程

9月5日（月）～10日（土）

3 訪問団メンバー

秋元市長、佐藤 達也・都市計画担当局長、村瀬 利英・まちづくり政策局プロジェクト担当部長、まちづくり政策局都心まちづくり推進室職員1人、総務局国際部職員3人 計7人

4 主なスケジュール予定

9/5（月）	・ポートランド日本庭園視察 ・ポートランド・札幌姉妹都市協会交流会
9/6（火）	・ポートランド開発局（PDC：Portland Development Commission）視察 ・MAX（路面電車）乗車 ・都市成長境界線（UGB：Urban growth boundary）視察
9/7（水）	・チャーリー・ヘイルズ・ポートランド市長表敬訪問 ・パール・ディストリクト視察 ・ポートランド州立大学視察
9/8（木）	・トム・マッコール・ウォーター・フロント・パーク視察 ・パイオニア・コートハウス・スクエア視察
9/9（金）	・移動日
9/10（土）	

5 ポートランドのまちづくり視察について

ポートランド市の成功は、全米でも独特といわれる行政システムや住民参加制度の下、持続可能で人に優しい都市を計画的に形成してきた成果といわれている。

そこで、関係行政機関とまちづくりについての意見交換を行うほか、都市再生と経済開発事業を担う準独立型の機関である「ポートランド開発局（PDC）」などを訪問する。

また、古い操車場や倉庫街を最もポートランドらしくエコな街として造り変えた「パール・ディストリクト」、高速道路を撤去して潤いあるウォーターフロントとして整備した「トム・マッコール・ウォーター・フロント・パーク」、街の中心の巨大な駐車場を市民の憩いの場として再整備した「パイオニア・コートハウス・スクエア」などまちづくりの象徴的な地域を訪れ、現地において関係者との意見交換を行う。

これらのことを通して、ポートランドが持続可能なまちづくりに成功するに至った考え方を知り、まちの実態を把握する。

6 ポートランド日本庭園の視察について

ポートランド日本庭園は、昭和34年の札幌市とポートランド市との姉妹都市提携締結を契機に、ポートランドにおける日本文化に対する関心が高まり昭和38年に造成されたもので、姉妹都市交流を象徴する施設となっている。

平成25年に同庭園が開園50周年を迎えたことを受け、庭園および施設の拡張計画が発表され、日本を代表する建築家である隈 研吾（くま・けんご）氏も携わり、平成29年3月のリニューアルオープンに向けて工事が進められている。

今回の視察では、同庭園の拡張工事の状況を視察するとともに、両市の姉妹都市交流で重要な役割を担っているポートランド・札幌姉妹都市協会が同庭園内で主催する交流会に参加し、両市の交流深化につなげる。

問い合わせ先

（表敬訪問・日本庭園視察等の交流に関すること）総務局国際部交流課 齋藤、平塚

電話：211-2032、ファクス：218-5168

（まちづくり視察に関すること）まちづくり政策局都心まちづくり推進室 西村

電話：211-2692、ファクス：218-5112